

一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

リベラル鈴鹿 中村 浩 議員

Cバスについての25回目

(質問) Cバスの運行ルートを見直す時期に来ているが、市街化区域の交通空白地域への対応をどう考えているのか。

(答弁) Cバス運行事業の導入目的は、中心的な市街地から遠方に位置し、公共交通が希薄な地域の住民に公共交通を提供することであり、西部地域・南部地域の実証運行を開始

し、現在に至っている。市街化調整区域に限らず、市街化区域においても公共交通を利用しにくい地域が存在し、不便であるとの意見がある。新たな地区にCバスを導入するためには、基礎調査などをしっかりと行う必要がある。公共交通を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、新たに「地域公共交通網形成計画」の策定について検討し、あらためて、市街化区域も含めた本市の公共交通の在り方について整理していきたい。

その他の質問○市の補助金について

新緑風会 大杉 吉包 議員

市街化調整区域における地域の活性化について

(質問) 人口減少について、市の考え方や土地利用について問う。

(答弁) 住民基本台帳によると、直近10年で約4,500人が減少(減少率2.2%)し、人口減少地区は19地区で減少率10%以上の地区は、庄内、合川の2地区である。2045年時点で人口は15万6,000人程度と、4万人以上の減少が

予測されている。人口減少抑止策として、整備が進む新名神高速道路や中勢バイパスなどの交通インフラを最大限活用し、企業誘致に力を入れていく。土地利用については、平成22年度・平成24年度において本市独自の緩和基準を施行し、8年間で143件の許可実績がある。人口減少対策となる新たな手法を検討していきたい。地域コミュニティーについては、地域共生社会の実現に向けて、学校の空き教室利用を検討する。

その他の質問○子どもの貧困問題について

公明党 藤浪 清司 議員

認知症対策について

(質問) 認知症の人は年々増え続けており、対策は最重要課題である。本市の対策について尋ねる。認知症予防対策として、天理市・福岡市などで実施している、民間事業者の知見や資金を活用した「認知症予防・改善プログラム」を導入してはどうか。低予算で導入でき、簡単に貼れる「行方不明者の身元確認

用QRコードシール」の配布を行ってはどうか。

(答弁) 医療と福祉の専門職2名で認知症初期集中支援チームを組み、早期診断・早期対応支援を行っている。認知症サポーターのステップアップ講座を平成31年1月に開催する。天理市では、民間の大手教育事業所と連携した「活脳教室」で、初期認知症の疑いがあった全員の能力改善が報告された。今後、調査研究に取り組む。QRコードシールは、個人情報を開示することなく行方不明者を発見できる効果を認識しており、導入を検討したい。

新緑風会 平畑 武 議員

ふるさと応援寄附金について

(質問) これまでの取り組み内容や実績推移を踏まえ、最終的に本市が目指す位置付けや「ふるさと応援寄附金」に対する思いについて問う。

(答弁) 「すずか応援寄附金」は、寄附金であるという趣旨を尊重した従来の取り組みから、地域資源の発信を意識したシティセールス、

地場製品のPRや販売促進に向けての産業振興、寄附機会の増大による財源の確保の3点を主眼とした取り組みへと政策転換を行い、平成28年7月から拡充してきた。結果的に、貴重な財源であるとともに、制度を通して地域の活性化にもつながっている。

今後も、地方創生を推進する手段として、本来の制度趣旨に沿った形で事業展開し、子育てや教育、観光、地域産業の振興などの施策推進への活用を目指していくとともに、取り組みを通して財源の確保に努める。